

職場体験はもとより、将来の社会生活に活かせるお話をいただきました。 2年生 マナー講座 7月12日(金)

本校では、外部人材の活用を積極的に行うことで、学習活動の充実を図っています。今回は、2年生向けの「マナー教室」の実施にあたり、学年の保護者の方のご紹介で、(株)ビックカメラ様より、総務人事部人材開発チーム 研修担当として研修トレーナーされている 佐々木浩一様にお越しいただきました。佐々木様は、長年、社員教育に携わってきておられる方です。



7月12日(金)3・4校時を使い、2学年一斉にアリーナにて、ご講義いただきました。内容は、主に接客、なかでも、単なる立ち振る舞いではなく、その考え方や心構えについて、お話しいただきました。そのひとつとして、相手の立場になって考えることの大切さを強調されていました。これは、日頃の人との接し方にも通じるものであり、自分のことをただ伝えればいいのではなく、相手がどう受け止めるかを意識することも大事であると感じました。また、新たに何かに取り組む際、行動を変えるだけでなく気持ちを変える = 自分自身で“心の構えをつくる”ことの重要性を繰り返しお話しされていました。格好だけやろうとしても上手くいかない、何かを成すには真摯さ・真剣さといった心の姿勢が必要だということだと感じました。熱のこもった迫力のあるご講演で、生徒も真剣な眼差しで聞いていました。



今回のご講演は、9月の事業所での職場体験に役立つ内容でした。しかしそれ以上に、それらは将来、社会に出て働き生活していく際にも大切なことであり、その人の生き方に関わることが数多く語られていたように思います。ぜひ、みなさんには、これが自身の糧となるよう、今回の職場体験に、そして日頃の学校生活に活かしてほしいと思います。

貴重なお話をいただきました (株)ビックカメラ 佐々木浩一様、本当にありがとうございました。